

関東ふれあいの道を歩く(埼玉)⑩下久保ダムを望むみち

2021年3月3日 池内淑皓

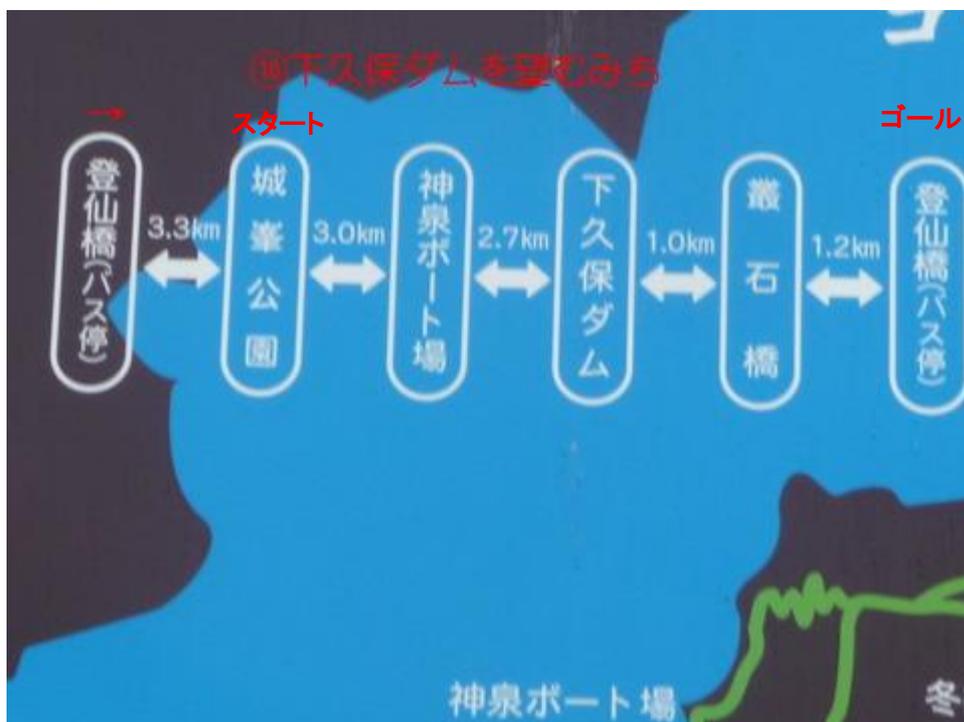
2020年10月17日(土)朝から雨。昨日はここでソロキャンプとしゃれこんだ。

朝一番で城峯公園内を散策してから、バーナーを焚いて朝食を作る。餅入りラーメンとソーセージ。

雨具着用の完全装備で7:00出発、舗装道路を歩いて、下久保ダム堰堤を巡りながら群馬県境に到る。緑泥片岩に彩られた国指定名勝・天然記念物の「三波石峡」を散策しながら、ゴールの登仙橋に到着。登仙橋でバス待ちをしていたら、通りかかった地元のおじさんが町まで送ってくれた、感謝感謝。



城峯公園から下久保ダム、三波石峡、登仙橋までの概念図(案内板)



城峯公園→下久保ダム→叢石橋(そうせき橋)→登仙橋バス停(ゴール) 行程図



「城峯公園案内図」この公園は埼玉県児玉郡神川町にある県立の公園で、冬桜が特に有名



朝から雨だけど園内を散歩する。紅葉には少し早かった



ご当地で有名な「冬桜」がちらほら咲いていた。10月末には観桜の臨時バスが出る



今頃咲く雨に濡れた冬桜も、まあいいか。



関東ふれあいの道は公園内を通り抜けるコースとなっている



園内を一周して下久保ダム方向に向かう



公園の出口に「城峯神社」があるので、立ち寄ってみよう



「城峯神社」 一対の山犬(狼?)が社を守る。天禄二年(971)日本武尊東征の砌、この山頂に大山祇神を祀ったのが始まり、江戸時代徳川家光が再興し、明治五年この地に遷宮した



「冬桜の宿 神泉」バス停、通年営業。ダムが良く見える



道標に導かれて、遊歩道に入るが雨で気分が良くない



下久保ダム



ダムサイトの公園に荷物を置いて、ダムを見学



「下久保ダム」昭和 34 年(1959)4 月から 10 年かけて完成、205 億円かかった。
利根川系の神流川(かんながわ)を堰き止めて造った。満水面積 3.3km²、貯水量 1 億 3 千万 m³



直線重力式コンクリートダムで洪水、灌漑、水道、発電等目的とする多目的ダム毎秒 14 トンの水を水道水として埼玉・東京に送る



堰堤から遥かに見下ろす三波石峡



遂に群馬県境に達した。ダム中央が県境となっている。ここから先の関東ふれあいの道は群馬県①三波石峡のみちとなる



三波石峡への道は、堰堤の脇からジグザグの道を谷に向けて下る



谷への道途中から見た三波石峡



三波石峡に架かる叢石橋(そうせきはし)を渡る



国の名勝・天然記念物に指定された緑泥片岩に彩られた素敵な渓谷。中央構造線の南側に位置する

三波川の変性帯で、緑泥片岩の”三波石”を産出する緑と白の帯を成す変成石。庭石として珍重される



橋から見た三波石峡、雨のため水は濁り折角の景観は、だいなし



水が澄んでいれば、長瀬以上の渓谷美だと言う



我が家の庭石(緑泥片岩)



雨の中、やけくそに歩いてゴールの登仙橋に到着 9:30。バスは 11:23 であるが雨宿りしていたら、

通りかかった地元のおじさんが町まで送ってくれた。地方の人は親切だね



町に出ればバスの発着数が多い、今里集落から連絡バスに乗り、JR 高崎線の新町駅に到着。

湘南新宿ラインでそのまま横浜に帰れる、キオスクでビールを買って、一人乾杯としよう。

[参考タイム] 城峯公園キャンプ場(7:05)→下久保ダム(8:10-8:30)→叢石橋(8:50-9:00)→登仙橋バス停
(9:30)→車で送って頂いた→鬼石(10:00)→JR 高崎線新町駅着(10:35)

この項完

「関東ふれあいの道を歩く(埼玉)④峠の歴史をしのぶみち」に続く